

『あしたへ活かせる摂食障害へのアプローチ』

～ Contents ～

第一部：摂食障害とメンタライジング・アプローチ

第二部：モーズレイ神経性やせ症治療(MANTRA)のエッセンスを
日々の実践に活かす

第三部：当事者からのメッセージ

● 日時：2023年1月29日（日）10:15～16:00

● 場所：(A) ウィングス京都2階 会議室1・2

(B) オンラインによる参加 (Zoom)

※講演部分は開催後の1ヶ月間は、オンデマンドでの視聴が可能です。

※このワークショップは臨床心理士ポイントの申請を予定しています。

● 定員：A) 30名 B) 100名 ● 受講料：8,000円

※定員に達し次第、申し込みは終了させていただきます。

● 対象者：医療・福祉・教育・行政等の分野で、摂食障害支援に関わる
心理職及びその他の支援者

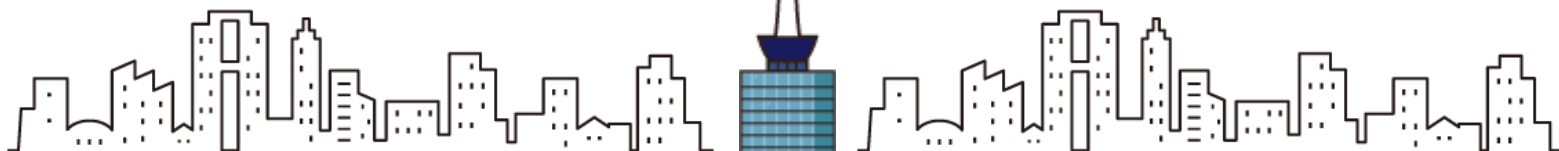
● 申し込み方法：右のQRコードを読み込んでいただき、
申し込みフォームにご入力ください。
SEED きょうとのウェブサイトからも
申し込みが可能です。



NPO 法人 SEED きょうと

検索

※締め切り日：2023年1月21日（土）
まで延長しました！



臨床や福祉、教育などそれぞれの場面において、日々実践的な摂食障害支援を行っている支援者が、より専門的な視点からのアセスメントを取り入れて、効果的な摂食障害支援をおこなえるようになるようなプログラムを計画しております。

今回は、2人の精神科医の講演に加え、当法人事業所を利用されている摂食障害の当事者の方からの発表も合わせて実施する予定です。皆様の支援の現場において、翌日から役に立つ内容となるように構成されておりますので、ぜひご参加ください。

～ 紹介 ～

崔 炯仁 (いわくら病院 精神科医)



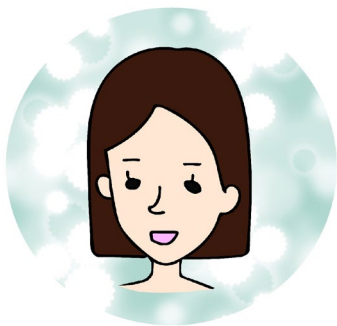
1995年京都府立医科大学医学部を卒業、2004年より同大学大学院医学研究科精神機能病態学助教、講師。2009年にロンドン大学セントジョージ校摂食障害部門に留学。アナ・フロイトセンターにてメンタライゼーションのベーシクトレーニングを修了。現 いわくら病院副院長、日本メンタライゼーション研究会会長。著書に「メンタライゼーションでガイドする外傷的育ちの克服」

水原 祐起 (特定非営利活動法人SEEDきょうと 精神科医)

2006年に京都府立医科大学医学部を卒業し、2011年より京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 助教。2014年にロンドン大学 Kings 校摂食障害臨床研究部門に留学。留学中に Maudsley Hospital にて成人の神経性やせ症治療 (MANTRA) について Janet Treasure 教授より学ぶ。2017年から京都府立こども発達支援センター精神科医長。現 特定非営利活動法人 SEED きょうと 理事長。



ビタミンちゃん (当事者さん)



現在 34 歳。16 歳の夏頃～摂食障害。やせ型の過食嘔吐で 10 数年きたが、現在は過食嘔吐のみ。約 10 年病院に通っており、4 年ほど前からカウンセリングを受けている。去年は認知行動療法を受けた。

お問い合わせ



NPO 法人 SEED きょうと

E-mail : soumu@seedkyoto.net TEL・FAX : 075-748-7834

※できるだけメールか FAX でお願いします。